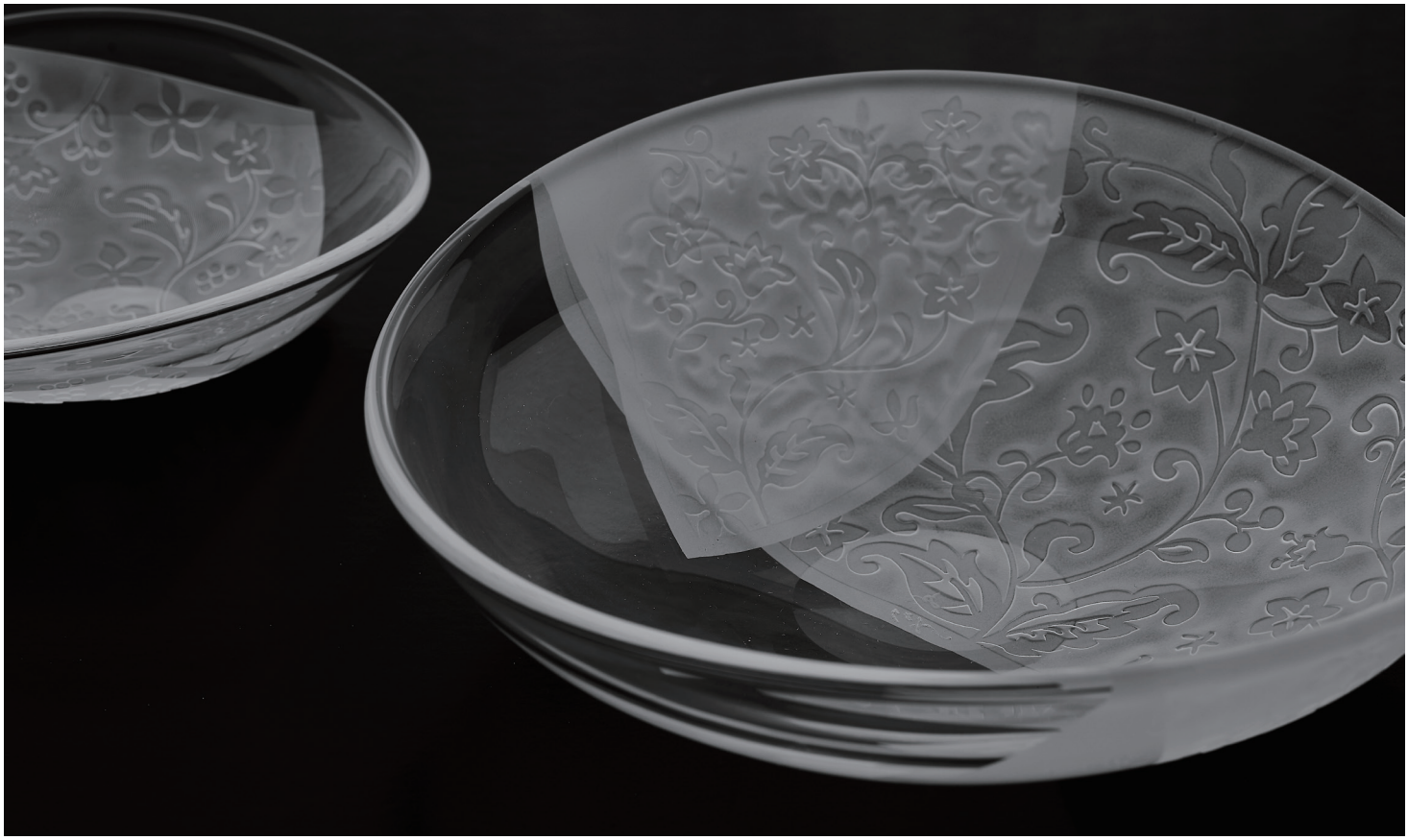
川添微さんからのメッセージ

エメラルド原石の存在を知ってほしい。
エメラルド原石の産まれたままの美しさは
カットしたエメラルドのような輝きはない、その素朴なたたずまい
侘び寂びにも通じる美は
カジュアルな装いにもフォーマルにもしっくりとくる
あなただけの“日々のジュエリー”になると信じて制作しています。

うつわ菜の花



・川添微のエメラルド
・三浦世津子のガラス

2019年 4月27日.土 ― 5月5日.日祝

定休日 1日.水　　OPEN 11:00 ―18:00

作家在廊日 川添微さんは全日在廊、三浦世津子さんは 27日(土)

・お話し会を開催します

4月27日(土) 17時より　うつわ菜の花にて

川添微さん、三浦世津子さん、店主 髙橋台一

ゲスト／ギャラリーen、蓮井将宏さん

人と人との出会いは本当に不思議。
どこかで誰かが仕組んでいるのかわかりませんが、必ずおこります。
人は出会うようになっているのです。そんなことをこの二人に感じます。

・ガラスと宝石エメラルドの二人展

二人の出会いを勧めてくださったのは、高松のギャラリーenの蓮井さん。
微さんの文章によれば「私のジュエリーをガラスの上にのせた瞬間に恋に落ちました。
いつものエメラルドの原石の、これでもか！というような力強い表情が、愛のあるものに抱かれた時に誰もが見せる表情に変わったのです。」
一方、もともと鉱物、金銀宝石好きでもある世津子さんにとっても、ずっと心に引っかかっていたエメラルドジュエリーで、坑道で採掘した原石そのままをジュエリーに仕上げるダイナミックな仕事は憧れだったそうです。
そしてその二人が、いつか二人展が出来たら――と、電話で話している時、ちょうど世津子さんは「小川待子展」を見に小田原うつわ菜の花へ向かっているところだったというのです。
それから私と会って、今回の二人展が実現することになりました。
私は、世津子さんとは23年ぶりでしたが、彼女は昔と変わらず、ガラスの持っている凛としたものを失うことなく、仕事をされていました。ずれることなく作品ひとつひとつがキンと立っているのです。ずっと気になっていたけれど企画することがないままで来たのですが、こんな形で企画できて、私もとても嬉しく思っています。

2019年4月8日 うつわ菜の花・たかはしたいいち

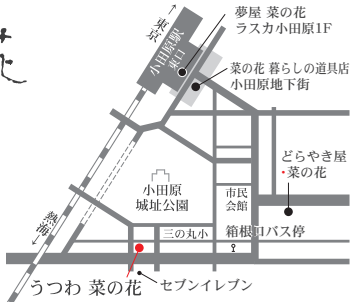
川添微(かわぞえほのか)

1971年兵庫県生まれ
1991年から東南アジアやオーストラリアを旅しながら
「自分に向いた仕事は何か」を考えた。
インドネシア・バリ島でオニキス、ラピスラズリ、水晶の加工を学ぶ。
オーストラリアでは、オパールの採掘、研磨に携わる。
1993年エメラルド原石輸入会社に就職。
女性では珍しいバイヤーとして南米・コロンビアの山で採掘や研磨、加工に携わった。
2001年 米国宝石学終了し宝石鑑定士の資格を得てニューヨークを拠点に制作を始めた。
2004年バリ島のウブド郊外にアトリエを構えて現在に至る。
2003年 阪急うめだ本店・美術画廊(毎年)
2014年 三越銀座店アートギャラリー(毎年)
2013年 伊勢丹新宿本店・アートギャラリー(毎年)
2017年5月 ドキュメンタリー番組「情熱大陸」(毎日放送)に出演

三浦世津子(みうらせつこ)

愛知県生まれ
1986年－90年
イギリス、アイスランド、チェコスロバキア、北米でガラス工芸を学ぶ
1992年－2012年
諏訪ガラス工房のスタジオマネージャー
全国で個展、グループ展多数
2013年 独立
長野県茅野市在住

うつわ菜の花

小田原市南町1-3-12
電話0465-24-7020

小田原駅東口より箱根方面へ
向かうバス利用
[箱根口]バス停下車徒歩2分
セブンイレブン向かい側